

平成28年度岡山ESD推進協議会
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 スイゲンゼニタナゴ生息環境保全事業

団体名 岡山県立高松農業高等学校「高農環境を考える会」 担当者名 坪 弘文

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

| 1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等） | | |
|---------------------------------------------------------|-------------------------|-----------------------|
| ①スイゲンゼニタナゴ生息環境保全事業（用水路の清掃） | | |
| 5月 1日（日）8：00～ | 高縄手用水路 | 生徒4名参加 |
| 9月18日（日）8：00～ | 高縄手用水路 | 生徒1名参加 |
| ②校内ビオトープの水質調査、水温・気温・水深の測定 | | |
| 水質調査は、月1回実施し、水温・気温・水深は毎日、朝・昼・放課後実施 （現在も継続中） 生徒が交代で測定 | | |
| ③近隣小学校との環境交流学习 | | |
| 加茂小学校4年生と「調べよう加茂の環境を」をテーマに環境交流学习を実施 | | |
| 5月10日（火） | 交流学习打ち合わせ | 生徒 3名参加 |
| 6月29日（水） | 足守川の水質調査 | 生徒17名参加 |
| 7月13日（水） | 水生生物について | 生徒17名参加 |
| 9月 7日（水） | 水生生物について | 生徒17名参加 |
| 9月21日（水） | 足守川の水質調査 | 生徒17名参加 |
| 11月21日（土） | 交流学习発表会・意見交換会 | 生徒17名参加 |
| ④各種環境活動発表会への応募 | | |
| 第5回「AEON eco-1グランプリ」 | | 応募 |
| 第2回全国ユース環境活動発表大会 | | 応募 |
| ⑤公民館との連携 | | |
| 7月30日（土） | 高松公民館「水辺教室」 | 生徒 3名参加 |
| ⑥パネル等による活動発表 | | |
| 6月16（木）・17日（金） | 農業クラブプロジェクト発表県大会（勝間田高校） | 生徒3名 発表 最優秀賞（中国大会へ出場） |
| 8月 9日（火）・10日（水） | 農業クラブプロジェクト発表中国大会（鳥取市） | 生徒3名 発表 優秀賞 |

| | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|---------|
| 10月23日(日) | 高松まほろば祭り | 生徒9名参加 |
| 10月26日(水)・27日(木) | 岡山市環境保全型農業推進パネル展 | |
| 10月30日(日) | まちはなフェア | |
| 12月14日(水) | 校内プロジェクト発表会 | 生徒3名 発表 |
| 12月23日(金・祝) | ESD Cafe' URA 2016 | 生徒3名 発表 |
| 2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自分で感じ、考え、行動する力 展示内容やブースのレイアウトを考え、積極的に行動することができた。 (ブース内でのアンケート、さらにブース外に足を運びイベントに参加された方へのアンケート活動・広報活動を積極的に行うことができた。) ・気持ちや考えを伝えあい表現する力 加茂小学校4年生と「調べよう加茂の環境を」をテーマに、足守川の水環境調査を行うことで、お互いの考えや気持ちを交流する事ができていた。 ・他者と協力して物事を進める力 地域の方、専門家の方から校内ビオトープの管理方法や観察方法の指導を受けた。 その後、生徒達が意欲的に管理・観察を継続している。 | | |
| 3. 取組の成果(参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など) | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・スイゲンゼニタナゴを繁殖・保護することを通して、身近な環境を見つめ直すことができた。 ・コミュニケーションが苦手な生徒が多いが、活動に参加した生徒は活動発表やアンケート活動を通してコミュニケーションの取り方を学習できたと思う。生徒を主とした活動場面を増やしていきたいと思った。 ・水質調査や校内ビオトープの環境調査などを通して、調査の方法や調査結果をまとめ、考察する力が身に付いたと思う。 ・小学生に教えることで同じ目線で見つめ、考えることができた。 ・日常で取り組んでいる内容や結果を小学生に伝えることで、自分たちの学習が深化し、活動への理解や自信が深まった。 | | |
| 4. 今後の課題と展望 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に活動内容の発表やパネル展示の場に参加した。今後は、高松地区に希少な生物がいること、高松農業高等学校が希少な生物を保護・繁殖をしていることを広範囲に発信していきたい。 ・地域の方や環境保全・保護活動を実施されている団体と「高農環境を考える会」の連携を図り、ネットワークを拡大し情報交換を実施したい。 ・夏休みなどの長期休業中を活用し「高農水辺教室」、出前講座などを定期的に開催し、多く子どもたちに地域の自然に触れてもらいたい。 | | |

平成28年度岡山ESDプロジェクト 実施状況

高松農業高等学校「高農環境を考える会」

その1

スイゲンゼニタナゴ生息環境保全事業



5月1日(日)



9月18日(日)

パネル等による活動発表



高松まほろば祭り(10月23日)
高松城址公園



まちはなフェア(10月30日)
下石井公園



ESD Café URA 2016(12月23日)
岡山国際交流センター

近隣小学校との環境交流学習



足守川の水質調査



水生生物調査



発表会・意見交換会

公民館との連携



高松公民館水辺教室（7月30日）

研究発表



プロジェクト発表会中国ブロック大会
8月10日（鳥取県立生涯学習センター）